

S/N: TBA

01/29/2004

Docket No.: TAK-168-USAP

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Serial No.: TO BE ASSIGNED Confirmation No.: TO BE ASSIGNED

Applicant: Masaki TAKABAYASHI et al. Art Unit: TO BE ASSIGNED

Filed: January 29, 2004 Examiner: TO BE ASSIGNED

Docket No: TAK-168-USAP Customer No: 28892

For: Cover and Decorative Cover for a Clip and Clip Set and a Nail
Cover in Combination With a Plastic Clip

PRIORITY DOCUMENT TRANSMITTAL

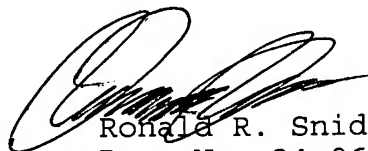
US Patent & Trademark Office
2011 South Clark Place
Customer Window
Crystal Plaza Two, Lobby, Room 1B03
Arlington, VA 22202

Sir:

In accordance with the provisions of 37 CFR 1.55 and the requirements of 35 U.S.C. 119, attached hereto is a certified copy of the priority document, Japanese Patent Application No. 2003-116194, filed on April 21, 2003.

It is respectfully requested that applicant be granted the benefit of the filing date of the foreign application and that receipt of this priority document be acknowledged in due course.

Respectfully submitted,


Ronald R. Snider
Reg. No. 24,962

Date: January 29, 2004
Snider & Associates
Ronald R. Snider
P.O. Box 27613
Washington, D.C. 20038-7613
(202) 347-2600

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 2003年 4月21日
Date of Application:

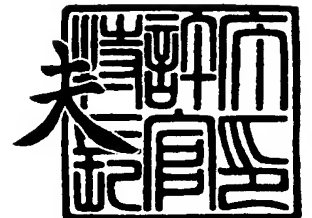
出願番号 特願2003-116194
Application Number:
[ST. 10/C]: [JP 2003-116194]

出願人 j-sen株式会社
Applicant(s): 株式会社デコス

2003年 8月 8日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井 康



出証番号 出証特2003-3063990

【書類名】 特許願
【整理番号】 03P0608W
【提出日】 平成15年 4月21日
【あて先】 特許庁長官 太田 信一郎 殿
【国際特許分類】 A45D 31/00
A45C 13/20
A44B 21/00

【発明者】

【住所又は居所】 兵庫県西宮市羽衣町 2 番 3 号

【氏名】 野田 泰三

【発明者】

【住所又は居所】 京都府京都市北区上賀茂本山 2 0 8 番地

【氏名】 瀧 栄治郎

【発明者】

【住所又は居所】 京都府京都市中京区御幸町通三条上る丸屋町 3 2 6 番地
ルイシャトレ三条御幸町 4 0 1 号

【氏名】 高林 正喜

【特許出願人】

【識別番号】 591117480

【氏名又は名称】 j - s e n 株式会社

【代表者】 高林 正喜

【特許出願人】

【識別番号】 591141290

【氏名又は名称】 株式会社デコス

【代表者】 瀧 栄治郎

【代理人】**【識別番号】** 100067301**【弁理士】****【氏名又は名称】** 安藤 順一**【電話番号】** 075-222-2765**【手数料の表示】****【予納台帳番号】** 017514**【納付金額】** 21,000円**【提出物件の目録】****【物件名】** 明細書 1**【物件名】** 図面 1**【物件名】** 要約書 1**【その他】** 同日付けにて上記特許出願人「j - s e n 株式会社」に係る「名称変更届」を提出しています。**【プルーフの要否】** 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 クリップ用爪型カバー及び該クリップ用爪型カバーとプラスチック製クリップとを組み合わせたクリップセット

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 人間の爪様に外面が湾曲していると共に爪先に向かって伸びた形状の付爪本体と該付爪本体の内面から垂設されて該付爪本体の短手方向に向かって走る薄板状被挟持壁とを備えていると共に該被挟持壁には付爪本体の内面との間に嵌合溝が形成されていることを特徴とするクリップ用爪型カバー。

【請求項 2】 人間の爪様に外面が湾曲した形状の付爪本体と該付爪本体の後部両側に対面して形成された下向き側壁部と付爪本体の内面から垂設されて該両側壁部に向かって走る薄板状被挟持壁とを備えていると共に該被挟持壁には付爪本体の内面との間に嵌合溝が形成されていることを特徴とするクリップ用爪型カバー。

【請求項 3】 嵌合溝が付爪本体の内面に沿って湾曲して形成されている請求項 1 又は 2 記載のクリップ用爪型カバー。

【請求項 4】 後方に嵌合窓が設けられていると共に該嵌合窓の両側部に側壁が設けられて該両側壁内面には支持軸が形成されて人間の爪様に外面が湾曲した形状の一方側挟持板と該一方側挟持板の嵌合窓に嵌まる側面視略凹状の補助板が後方に設けられた他方側挟持板と前記支持軸を中心として回動することによって前記補助板が押圧されて一方側挟持板と他方側挟持板との先端部を開閉させる操作板とから構成されて該操作板の回動により前記補助板が前記嵌合窓に嵌まり合って一方側挟持板と他方側挟持板との先端部が閉じるようになっているプラスチック製クリップの当該一方側挟持板の外面側に装着するクリップ用爪型カバーであって、人間の爪様に外面が湾曲していると共に爪先に向かって伸びた形状の付爪本体と該付爪本体の内面から垂設されて該付爪本体の短手方向に向かって走る薄板状被挟持壁と該被挟持壁の爪先側面にて付爪本体の内面との間に形成された嵌合溝とを備えており、該被挟持壁を前記一方側挟持板の嵌合窓に挿入して該嵌合窓の前方辺縁に嵌合溝を嵌め込むことができると共に付爪本体を一方側挟持板の外面側に装着することができることを特徴とするクリップ用爪型カバー。

【請求項 5】 後方に嵌合窓を設けると共に該嵌合窓の両側部に側壁を設けて該両側壁内面には支持軸を形成して人間の爪様に外面が湾曲した形状の一方側挟持板と該一方側挟持板の嵌合窓に嵌まる側面視略凹状の補助板を後方に設けた他方側挟持板と前記支持軸を中心として回動することによって前記補助板を押圧して一方側挟持板と他方側挟持板との先端部を開閉させる操作板とから構成して該操作板の回動により前記補助板が前記嵌合窓に嵌まり合って一方側挟持板と他方側挟持板との先端部が閉じるようになっているプラスチック製クリップと、人間の爪様に外面が湾曲した形状の付爪本体と該付爪本体の後部両側に対面して形成された下向き側壁部と付爪本体の内面から垂設されて該両側壁部に向かって走る薄板状被挟持壁と該被挟持壁の爪先側面にて付爪本体の内面との間に形成された嵌合溝とを備えているクリップ用爪型カバーとを組み合わせたクリップセットであって、クリップ用爪型カバーの被挟持壁をプラスチック製クリップの一方側挟持板の嵌合窓に挿入して該嵌合窓の前方辺縁に嵌合溝を嵌め込むことにより付爪本体が一方側挟持板の外面側に装着されて操作板の回動により押圧された補助板が嵌合窓に嵌着されることによりクリップ用爪型カバーがプラスチック製クリップから抜けないように固定されるようになっていることを特徴とするクリップ用爪型カバーとプラスチック製クリップとを組み合わせたクリップセット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、クリップ用爪型カバー及び該クリップ用爪型カバーとプラスチック製クリップとを組み合わせたクリップセットに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

周知の通り、人間の爪様に外面が凸状に湾曲した形状の付爪が若い女性に愛用されており、特許文献 1 には、爪に接着固定されるつけ爪本体と、指に取り付けられるリング体を備え、当該リング体と上記つけ爪本体とをチェーン体を介して連結した飾りつけ爪が開示されている。

【0003】

また、若い女性の間では、携帯電話に嗜好性に富んだ好みのストラップを取り付けるというファッション性を意識した携帯電話の利用方法が流行している。そして、当該ストラップには携帯電話を保持するための衣服等に挟み込むクリップが取り付けられており、特許文献 2 には、二枚板で成るクリップ挟み板の一方側に表示板を設けて他方の挟み板に設けた掛けフックには掛け紐を連結したクリップ留めストラップが開示されている。

【0004】

前記クリップの一種として、特許文献 3 には、図 2 5 及び図 2 6 に示すように、下部挟持板 30 と該下部挟持板 30 に載せた上部挟持板 31 と該上部挟持板 31 の後部に嵌め込んだ操作板 32 とからなり、下部挟持板 30 と上部挟持板 31 との先端部の挟持歯 33、33 を操作板 32 の回動操作により開閉するプラスチック製クリップ 34 が開示されており、当該プラスチック製クリップ 34 は、後方に嵌合窓 35 が形成されて該嵌合窓 35 の両側部に側壁 36、36 を設けて該両側壁内面には支持軸 37 を形成して外面が人間の爪様に凸状に湾曲した形状の前記下部挟持板 30 と、該下部挟持板 30 の嵌合窓 35 に嵌まる側面視略凹状の補助板 38 を後方に設けた前記上部挟持板 31 と、上部挟持板 31 の補助板 38 を下部挟持板 30 の前方から支持軸 37 の下に向かって通して下部挟持板 30 の嵌合窓 35 に嵌め込んだ状態にて前部 39 を上部挟持板 31 の後方から支持軸 37 の下に向かって押入れて後部 40 を支持軸 37 を中心として回動することによって下部挟持板 30 と上部挟持板 31 との先端部の挟持歯 33、33 を開閉させる前記操作板 32 とから構成されている。なお、図 2 5 は、前記従来のプラスチック製クリップの分解斜視図であり、図 2 5 の (a) は上部挟持板、図 2 5 の (b) は下部挟持板、図 2 5 の (c) は操作板を示し、図 2 5 の (c) に示す操作板については、裏面を上に向けて図示されている。また、図 2 6 は図 2 5 に図示する従来のプラスチック製クリップの長手方向中心線から逸れた位置の当該中心線と平行な線における端面図である。

【0005】

【特許文献 1】

特開平 1 0 - 2 1 5 9 4 7 号公報

【特許文献 2】

登録実用新案第 3046664 号公報

【特許文献 3】

特開 2001-107919 号公報

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

本発明者等は、若い女性の間で流行っている付爪とそのファッション性豊かなネイルアートを携帯電話へ応用できないかとその具現化をはかるべく研究・実験を重ねた結果、一般に、携帯電話にはストラップが取り付けられて該ストラップには携帯電話を保持するための衣服等に挟み込むクリップが設けられていること、そして、当該クリップは、例えば図 25 及び図 26 に示すように、下部挟持板と該下部挟持板に載せた上部挟持板と該上部挟持板の後部に嵌め込んだ操作板とから構成されて該挟持板は人間の爪様に外面が湾曲して前記付爪の外形状に酷似した形状となっていることに着目し、ネイルアートした付爪をクリップに取り付ければ機能性重視のストラップがよりファッション性高いお洒落感覚のストラップとなり、ネイルアートした爪先とストラップとが統一されたネイルアートとなってコーディネートする楽しみが得られ、しかも、付爪が、下部挟持板 30 の嵌合窓 35 と上部挟持板 31 の補助板 38 との間に形成された間隙に衣服等の糸屑が綿埃状態で挟まったり、内部に進入したりするのを防止するクリップの保護カバーとしての機能を果たすという刮目すべき知見を得、前記技術的課題を達成したものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】

前記技術的課題は、次の通りの本発明によって解決できる。

【0008】

即ち、本発明に係るクリップ用爪型カバーは、人間の爪様に外面が湾曲していると共に爪先に向かって伸びた形状の付爪本体と該付爪本体の内面から垂設されて該付爪本体の短手方向に向かって走る薄板状被挟持壁とを備えていると共に該被挟持壁には付爪本体の内面との間に嵌合溝が形成されているものである。

【0009】

また、本発明に係るクリップ用爪型カバーは、人間の爪様に外面が湾曲した形状の付爪本体と該付爪本体の後部両側に対面して形成された下向き側壁部と付爪本体の内面から垂設されて該両側壁部に向かって走る薄板状被挟持壁とを備えていると共に該被挟持壁には付爪本体の内面との間に嵌合溝が形成されているものである。

【0010】

また、本発明は、前記いずれかのクリップ用爪型カバーにおいて、嵌合溝が付爪本体の内面に沿って湾曲して形成されているものである。

【0011】

また、本発明に係るクリップ用爪型カバーは、後方に嵌合窓が設けられていると共に該嵌合窓の両側部に側壁が設けられて該両側壁内面には支持軸が形成されて人間の爪様に外面が湾曲した形状の一方側挟持板と該一方側挟持板の嵌合窓に嵌まる側面視略凹状の補助板が後方に設けられた他方側挟持板と前記支持軸を中心として回転することによって前記補助板が押圧されて一方側挟持板と他方側挟持板との先端部を開閉させる操作板とから構成されて該操作板の回転により前記補助板が前記嵌合窓に嵌まり合って一方側挟持板と他方側挟持板との先端部が閉じるようになっているプラスチック製クリップの当該一方側挟持板の外面側に装着するクリップ用爪型カバーであって、人間の爪様に外面が湾曲していると共に爪先に向かって伸びた形状の付爪本体と該付爪本体の内面から垂設されて該付爪本体の短手方向に向かって走る薄板状被挟持壁と該被挟持壁の爪先側面にて付爪本体の内面との間に形成された嵌合溝とを備えており、該被挟持壁を前記一方側挟持板の嵌合窓に挿入して該嵌合窓の前方辺縁に嵌合溝を嵌め込むことができると共に付爪本体を一方側挟持板の外面側に装着することができるものである。

【0012】

さらに、本発明に係るクリップ用爪型カバーとプラスチック製クリップとを組み合わせたクリップセットは、後方に嵌合窓を設けると共に該嵌合窓の両側部に側壁を設けて該両側壁内面には支持軸を形成して人間の爪様に外面が湾曲した形状の一方側挟持板と該一方側挟持板の嵌合窓に嵌まる側面視略凹状の補助板を後方に設けた他方側挟持板と前記支持軸を中心として回転することによって前記補

助板を押圧して一方側挟持板と他方側挟持板との先端部を開閉させる操作板とから構成して該操作板の回動により前記補助板が前記嵌合窓に嵌まり合っ一方側挟持板と他方側挟持板との先端部が閉じるようになっているプラスチック製クリップと、人間の爪様に外面が湾曲した形状の付爪本体と該付爪本体の後部両側に対面して形成された下向き側壁部と付爪本体の内面から垂設されて該両側壁部に向かって走る薄板状被挟持壁と該被挟持壁の爪先側面にて付爪本体の内面との間に形成された嵌合溝とを備えているクリップ用爪型カバーとを組み合わせたクリップセットであって、クリップ用爪型カバーの被挟持壁をプラスチック製クリップの一方側挟持板の嵌合窓に挿入して該嵌合窓の前方辺縁に嵌合溝を嵌め込むことにより付爪本体が一方側挟持板の外面側に装着されて操作板の回動により押圧された補助板が嵌合窓に嵌着されることによりクリップ用爪型カバーがプラスチック製クリップから抜けないように固定されるものである。

【0013】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を図面に基づき説明する。

【0014】

実施の形態1.

【0015】

図1は本発明の実施の形態に係るクリップ用爪型カバーの平面図、図2は図1に図示するクリップ用爪型カバーの側面図、図3は図1に図示するクリップ用爪型カバーの正面図、図4は図1に図示するクリップ用爪型カバーの背面図、図5は図1に図示するクリップ用爪型カバーのA-A線縦断面図であり、これらの図において、1は、人間の爪様に外面が凸状に湾曲して爪先に向かって伸びた長い形状の付爪本体2と、付爪本体2の後部両側に対面して形成された下向き側壁部3、3と、付爪本体2の内面から垂設されて付爪本体2の短手方向である両下向き側壁部3、3に向かって走る薄板状被挟持壁4とを備えたクリップ用爪型カバーであり、クリップ用爪型カバー1の被挟持壁4には付爪本体2の内面との間に嵌合溝5を形成するように凸状畦部6が走っており、嵌合溝5は付爪本体2の内面に沿って湾曲して形成されている。

【0016】

次に、本実施の形態に係るクリップ用爪型カバーを取り付けることができる下部挟持板と該下部挟持板に載せた上部挟持板と該上部挟持板の後部に嵌め込んだ操作板とから構成されて操作板を回動することによって下部挟持板と上部挟持板との先端部が開閉するプラスチック製クリップについて説明する。

【0017】

図6はプラスチック製クリップにおける下部挟持板の平面図、図7は図6に図示する下部挟持板の底面図、図8は図6に図示する下部挟持板のB-B線縦断面図、図9は図6に図示する下部挟持板を矢印C方向から見ている正面図であり、図10はプラスチック製クリップにおける上部挟持板の平面図、図11は図10に図示する上部挟持板の底面図、図12は図10に図示する上部挟持板のD-D線縦断面図、図13は図10に図示する上部挟持板を矢印E方向から見ている正面図であり、図14はプラスチック製クリップにおける操作板の平面図、図15は図14に図示する操作板の底面図、図16は図14に図示する操作板のF-F線縦断面図である。また、図17は上部挟持板の補助板を下部挟持板の前方から支持軸の下に向かって通し入れた状態を示す下部挟持板と上部挟持板との縦断面図、図18は上部挟持板の補助板を下部挟持板の前方から支持軸の下に向かって通して下部挟持板の嵌合窓に位置付けて操作板の前部を上部挟持板の後方から支持軸の下に向かって押入れた状態を示す下部挟持板と上部挟持板と操作板との縦断面図、図19はプラスチック製クリップの先端部が閉じて挟持歯が互いに噛み合った状態を示す縦断面図であり、図20はプラスチック製クリップの下部挟持板にクリップ用爪型カバーを取り付けた状態を示す縦断面図、図21はプラスチック製クリップの下部挟持板にクリップ用爪型カバーを取り付けた後にプラスチック製クリップの先端部を閉じた状態を示す縦断面図、図22は図6に図示する下部挟持板にクリップ用爪型カバーを取り付けた状態を示す正面図である。

【0018】

本実施の形態に係るクリップ用爪型カバー1を装着することができるプラスチック製クリップ7（図18参照）は、図25及び図26に示す従来のプラスチック製クリップ34と同様に、下部挟持板（一方側挟持板）8（図6～図9参照）と

該下部挟持板 8 に載せた上部挟持板（他方側挟持板） 9（図 10～図 13 参照）と該上部挟持板 9 の後部に嵌め込んだ操作板 10（図 14～図 16）とから構成されている。そして、前記下部挟持板 8 の外面は人間の爪様に凸状に湾曲した形状となっており、後方に矩形の嵌合窓 11 が設けられ、該嵌合窓 11 の両側部には側壁 12、12 が設けられ、該両側壁 12、12 内面には支持軸 13 が架設されている。また、前記上部挟持板 9 の外面は人間の爪様に湾曲した形状となっており、後方に前記下部挟持板 8 の嵌合窓 11 に隙間を有して嵌まる下方に突き出した形状の側面視略凹状補助板 14 が設けられ、該補助板 14 の下面を形成している下部 14a は前記嵌合窓 11 に嵌まるように矩形状となっている。さらに、前記操作板 10 の前部 15 には前記下部挟持板 8 の支持軸 13 に回動自在に嵌着される槌状軸受部 16 が横断して形成されており、該軸受部 16 の下部には前記補助板 14 の上面を押圧するカム 17 が形成されており、後部 18 にはストラップ（図示せず。）等を取り付け易いように紐通し穴 19 が形成されている。なお、20 は下部挟持板 8 の先端部に設けられた挟持歯であり、21 は操作板 10 の回動により上部挟持板 9 が開閉するように誘導する支持棚であり、22 は下部挟持板 8 の挟持歯 20、20 と噛み合うように上部挟持板 9 の先端部に形成された挟持歯であり、23 は下部挟持板 8 の支持棚 21 を摺動しながら上部挟持板 9 の先端部を開閉させる摺動軸である。

【0019】

そして、前記クリップ 7 は、図 17 に示すように、上部挟持板 9 の補助板 14 を下部挟持板 8 の前方から支持軸 13 の下に向かって通して下部挟持板 8 の嵌合窓 11 に上部挟持板 9 の補助板 14 を位置付けて、図 18 に示すように、上部挟持板 9 の摺動軸 23 を下部挟持板 8 の支持棚 21 に当接させて載せた状態とした後に上部挟持板 9 の後方から支持軸 13 に操作板 10 の軸受部 16 を嵌め入れて操作板 10 を支持軸 13 を中心として下に向かって回し、操作板 10 のカム 17 を上部挟持板 9 の補助板 14 の上面に乗り上げる前の状態に位置付ければ、下部挟持板 8 と上部挟持板 9 との先端部は開いた状態で保持され、図 19 に示すように、操作板 10 のカム 17 を上部挟持板 9 の補助板 14 の上面に乗り上げて下部挟持板 8 と上部挟持板 9 と操作板 10 とが同一線上となる状態に位置付ければ、下部挟持板 8 と上部挟持板 9 との先端部は閉じた状態で保持されるようになっている。

【0020】

爪型カバー 1 を装着することができるクリップ 7 が、図 25 及び図 26 に示す従来のプラスチック製クリップ 34 と異なるところは、下部挟持板 8 と上部挟持板 9 との先端部が閉じた状態においては、図 19 に示すように、嵌合窓 11 の前方辺縁 11a と補助板 14 の下部 14a おける前端辺 14b との間に隙間部 24 が形成されるようになっていること、そして、当該隙間部 24 が前記爪型カバー 1 に形成されている嵌合溝 5 における被挟持壁 4 の厚みと略同じ幅となるように寸法設定されていることである。

【0021】

従って、図 18 に示すように、下部挟持板 8 と上部挟持板 9 との先端部が開いている状態において、図 20 に示すように、爪型カバー 1 の被挟持壁 4 を下部挟持板 8 の嵌合窓 11 に挿入することができ、嵌合窓 11 の前方辺縁 11a に嵌合溝 5 を嵌め込むことができ、これにより、付爪本体 2 を下部挟持板 8 の外面に装着することができる。

【0022】

爪型カバー 1 の付爪本体 2 を下部挟持板 8 の外面側に装着した後（図 20 参照）、操作板 10 を回動させて、図 21 に示すように、下部挟持板 8 と上部挟持板 9 との先端部を閉じれば、嵌合窓 11 の前方辺縁 11a と補助板 14 の下部 14a における前端辺 14b との間に形成された隙間部 24 に被挟持壁 4 が挟まった状態となり、被挟持壁 4 に形成されている凸状畦部 6 がクリップ 7 の内側において、嵌合窓 11 の前方辺縁 11a に迫り出した状態となってストッパーの役目を果すこととなるので、被挟持壁 4 が隙間部 24 から抜けることはなく、これにより、爪型カバー 1 はクリップ 7 に固定されることとなる。

【0023】

また、爪型カバー 1 には、下向き側壁部 3、3 が設けられており、図 22 に示すように、当該下向き側壁部 3、3 はクリップ 7 の下部挟持板 8 における両側壁 12、12 を両側から挟むように該両側壁 12、12 に固定されるので、爪型カバー 1 の横擦れを防止することができる。

【0024】

なお、爪型カバー 1 がクリップ 7 に密着状態で装着されれば、必ずしも下向き側壁部 3, 3 は無くてもよい。また、嵌合窓 11 の前方辺縁 11a に嵌合溝 5 が嵌まればよいので、必ずしも嵌合溝 5 は付爪本体 2 の内面に沿って湾曲していなくてもよい。また、嵌合溝 5 は凸状畦部 6 によって形成される外、被挟持壁 4 に凹状の嵌合溝 5 が走っているものであってもよい。さらに、クリップ 7 において、下部挟持板 8 の支持軸 13 は両側壁 12, 12 に架設されているものではなく、両側壁 12, 12 の両側から突出した突起軸であってもよい。

【0025】

本実施の形態では、爪先のネイルアートと同じデザインのネイルアートを爪型カバー 1 の付爪本体 2 の外面に描いてクリップ 7 の嵌合窓 11 に被挟持壁 4 を挿入して爪型カバー 1 をクリップ 7 に装着し、当該クリップ 7 をストラップに取り付けければ、機能性重視のストラップがよりファッション性高いお洒落感覚のストラップとなり、ネイルアートした爪先とストラップとが統一されたネイルアートとなってコーディネートする楽しみを提供することができる。

【0026】

また、当該ストラップは携帯電話等に取り付けられて、クリップ 7 は衣服等に挟み込んで携帯電話等を保持するために利用されるので、爪型カバー 1 は、下部挟持板 8 の嵌合窓 11 と上部挟持板 9 の補助板 14 との間に形成された間隙に衣服等の糸屑が綿埃状態で挟まったり、内部に進入したりするのを防止するクリップの保護カバーとしての機能を果たすことができる。

【0027】

なお、従来のプラスチック製クリップ 34 において、嵌合窓 35 が前記クリップ 7 における嵌合窓 11 と同様に前記隙間部 24 が形成される条件を満たす形状に形成されておれば、実施の形態 1 の爪型カバー 1 を装着することができるのは勿論である。

【0028】

実施の形態 2.

【0029】

本実施の形態は、実施の形態 1 の爪型カバー 1 と該爪型カバー 1 を装着するこ

とができる図6～図22に示すプラスチック製クリップ7とを組み合わせたクリップセットであり、プラスチック製クリップ7は、後方に嵌合窓11を設け、該嵌合窓11の両側部に側壁12、12を設け、該両側壁12、12内面に支持軸13を形成して人間の爪様に外面に湾曲した形状の下部挟持板8と、下部挟持板8の嵌合窓11に嵌まる側面視略凹状の補助板14を後方に設けた上部挟持板9と、支持軸13を中心として回転することによって補助板14を押圧して下部挟持板8と上部挟持板9との先端部を開閉させる操作板10とから構成され、操作板10の回転により補助板14が嵌合窓11に嵌まり合って下部挟持板8と上部挟持板9との先端部が閉じるようになっている。

【0030】

また、爪型カバー1は、実施の形態1と同様に、人間の爪様に外面が湾曲した形状の付爪本体2と、付爪本体2の後部両側に対面して形成された下向き側壁部3、3と、付爪本体2の内面から垂設されて両側壁部3、3に向かって走る薄板状被挟持壁4と、被挟持壁4の爪先側面にて付爪本体2の内面との間に形成された嵌合溝5とを備えている。

【0031】

そして、クリップ7における下部挟持板8の嵌合窓11の前後幅は上部挟持板9の補助板8の前後幅と爪型カバー1の被挟持壁4の厚さとを加えた幅と略同等の幅となっている。即ち、嵌合窓11の前方辺縁11aと補助板14の下部14aにおける前縁14bとの間には被挟持壁4の厚さに相当する隙間部24が形成され、隙間部24は爪型カバー1に形成されている嵌合溝5における被挟持壁4の厚みと略同じ幅となるように寸法設定されており、図20及び図21に示すように、嵌合窓11に爪型カバー1の被挟持壁4を嵌め込んだ状態で上部挟持板9の補助板14の下部14aが当該嵌合窓11から着脱自在となるように寸法設定されている。

【0032】

従って、本実施の形態においては、嵌合窓11の前方辺縁11aに嵌合溝5を嵌め込んだ後に下部挟持板8の嵌合窓11に上部挟持板9の補助板14の下部14aを遊嵌状態で嵌着することによりクリップ用爪型カバー1をプラスチック製クリップ7から抜けないように固定することができるクリップ用爪型カバー1とプラスチッ

ク製クリップ7とを組み合わせたクリップセットを提供することができ、前記実施の形態1と同様の効果を奏することができる。

【0033】

実施の形態3.

【0034】

本実施の形態は前記実施の形態1に係るクリップ用爪型カバーの変形例であり、図1～図5と同一符号は同一又は相当部分を示し、図23は本発明の実施の形態に係るクリップ用爪型カバーの縦断面図である。同図におけるクリップ用爪型カバーは、付爪本体2の形状が実施の形態1のクリップ用爪型カバー1における付爪本体2の後端部を切除した形状となっており、下向き両側壁部3, 3が付爪本体2の後端部において切り離された形状となっている。

【0035】

また、図24は本発明の実施の形態に係るクリップ用爪型カバーの縦断面図であり、同図におけるクリップ用爪型カバーは、実施の形態1のクリップ用爪型カバー1における下向き両側壁部3, 3が無い形状となっている。

【0036】

本実施の形態における変形例においても、実施の形態1と同様に被挟持壁4が設けられているので、実施の形態1と同様の効果を奏することができる。

【0037】

【実施例】

全長28.7mm, 横幅12.4mm, 厚さ約0.7mm, 人間の爪様に外面がR8.9mmの凸状に湾曲した図1～図5に示すプラスチック製のクリップ用爪型カバー1を作製した。付爪本体2の内面には先端から16.3mmの位置に被挟持壁4の背面が位置付けられるように長さ7.9mm, 中央の高さ2.4mm, 厚さ0.9mmの被挟持壁4を垂設した。そして、溝幅1.1mm, 湾曲R8.9mmの嵌合溝5となるように高さ0.6mmの凸状畦部6を形成した。なお、下向き側壁部3, 3は先端から約18.5mmの位置の後部に形成した。

【0038】

全長27.8mm, 横幅12.2mm, 厚さ1mm, 人間の爪様に外面がR8.9mmの凸状に湾

曲した図 6 ～図 9 に示すプラスチック製の下部挟持板 8 を作製した。嵌合窓 11 として先端から 15.3mm の位置に縦横 7.8mm × 7.8mm の正方形の窓を形成した。次に、全長 25.5mm、横幅 11mm、厚さ 1mm、人間の爪様に外面が R8.9mm の凸状に湾曲した図 10 ～図 13 に示すプラスチック製の上部挟持板 9 を作製した。補助板 14 の下部 14a を長手方向（先端方向）8.5mm、短手方向（横幅方向）7.6mm、外形厚さ 1.0mm の長方体に形成した。さらに、下部挟持板 8 及び上部挟持板 9 に合う全長 17.5mm、前部 15 の横幅 7.4mm の図 14 ～図 16 に示すプラスチック製の操作板 10 を作製した。

【0039】

下部挟持板 8 と上部挟持板 9 と操作板 10 とを図 17 及び図 18 に示すように組み込んでプラスチック製クリップ 7 を得た。操作板 10 を回動させて図 19 に示すように下部挟持板 8 と上部挟持板 9 との先端部を閉じたところ、当該クリップ 7 では、幅約 1.2mm の隙間部 24 が形成されていた。

【0040】

図 20 に示すように、爪型カバー 1 の嵌合溝 5 を下部挟持板 8 における嵌合窓 11 の前方辺縁 11a に嵌め込んで装着した状態で図 21 に示すように下部挟持板 8 と上部挟持板 9 との先端部を閉じることができた。また、閉じた状態で爪型カバー 1 を下部挟持板 8 から外そうとしたが外れなかった。また、図 20 に示す下部挟持板 8 と上部挟持板 9 との先端部を開いた状態において、クリップ 7 を振っても外れることはなく、嵌合窓 11 の前方辺縁 11a と爪型カバー 1 の嵌合溝 5 との嵌合を解くことにより爪型カバー 1 をクリップ 7 から外すことができた。

【0041】

【発明の効果】

本発明によれば、ネイルアートすることができ、クリップの保護カバーとしての機能を果たすクリップ用爪型カバーを提供することができ、当該クリップ用爪型カバーと該クリップ用爪型カバーを装着することができるプラスチック製クリップとを組み合わせたクリップセットを提供することができる。

【0042】

従って、本発明の産業上利用性は非常に高いといえる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の実施の形態に係るクリップ用爪型カバーの平面図である。

【図 2】

図 1 に図示するクリップ用爪型カバーの側面図である。

【図 3】

図 1 に図示するクリップ用爪型カバーの正面図である。

【図 4】

図 1 に図示するクリップ用爪型カバーの背面図である。

【図 5】

図 1 に図示するクリップ用爪型カバーの A-A 線縦断面図である。

【図 6】

プラスチック製クリップにおける下部挟持板の平面図である。

【図 7】

図 6 に図示する下部挟持板の底面図である。

【図 8】

図 6 に図示する下部挟持板の B-B 線縦断面図である。

【図 9】

図 6 に図示する下部挟持板を矢印 C 方向から見ている正面図である。

【図 10】

プラスチック製クリップにおける上部挟持板の平面図である。

【図 11】

図 10 に図示する上部挟持板の底面図である。

【図 12】

図 10 に図示する上部挟持板の D-D 線縦断面図である。

【図 13】

図 10 に図示する上部挟持板を矢印 E 方向から見ている正面図である。

【図 14】

プラスチック製クリップにおける操作板の平面図である。

【図 15】

図 14 に図示する操作板の底面図である。

【図 16】

図 14 に図示する F-F 線縦断面図である。

【図 17】

上部挟持板の補助板を下部挟持板の前方から支持軸の下に向かって通し入れた状態を示す下部挟持板と上部挟持板との縦断面図である。

【図 18】

上部挟持板の補助板を下部挟持板の前方から支持軸の下に向かって通して下部挟持板の嵌合窓に位置付けて操作板の前部を上部挟持板の後方から支持軸の下に向かって押入れた状態を示す下部挟持板と上部挟持板と操作板との縦断面図である。

【図 19】

プラスチック製クリップの先端部が閉じて挟持歯が互いに噛み合った状態を示す縦断面図である。

【図 20】

プラスチック製クリップの下部挟持板にクリップ用爪型カバーを取り付けた状態を示す縦断面図である。

【図 21】

プラスチック製クリップの下部挟持板にクリップ用爪型カバーを取り付けた後にプラスチック製クリップの先端部を閉じた状態を示す縦断面図である。

【図 22】

図 6 に図示する下部挟持板にクリップ用爪型カバーを取り付けた状態を示す正面図である。

【図 23】

本発明の実施の形態に係るクリップ用爪型カバーの縦断面図である。

【図 24】

本発明の実施の形態に係るクリップ用爪型カバーの縦断面図である。

【図 25】

従来のプラスチック製クリップの分解斜視図である。

【図 2 6】

図 2 5 に図示する従来のプラスチック製クリップの長手方向中心線から逸れた位置の該中心線と平行な線における端面図である。

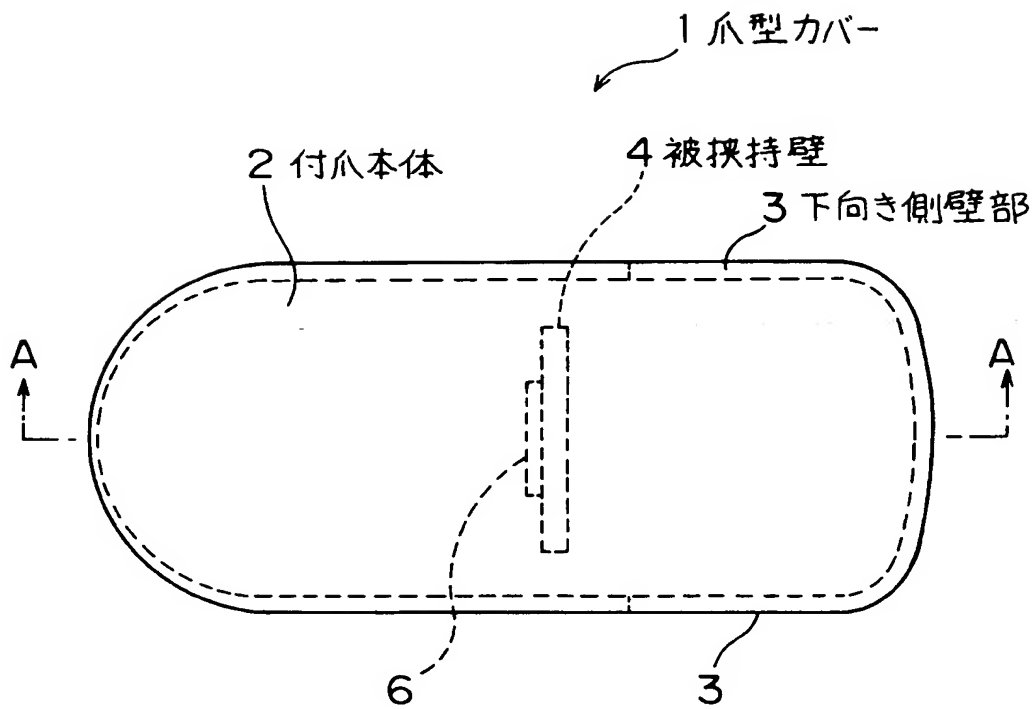
【符号の説明】

- 1 クリップ用爪型カバー
- 2 付爪本体
- 3 下向き側壁部
- 4 薄板状被挟持壁
- 5 嵌合溝
- 6 凸状畦部
- 7 プラスチック製クリップ
- 8 下部挟持板
- 9 上部挟持板
- 10 操作板
- 11 嵌合窓
- 11 a 前方辺縁
- 12 側壁
- 13 支持軸
- 14 補助板
- 16 槌状軸受部
- 24 隙間部

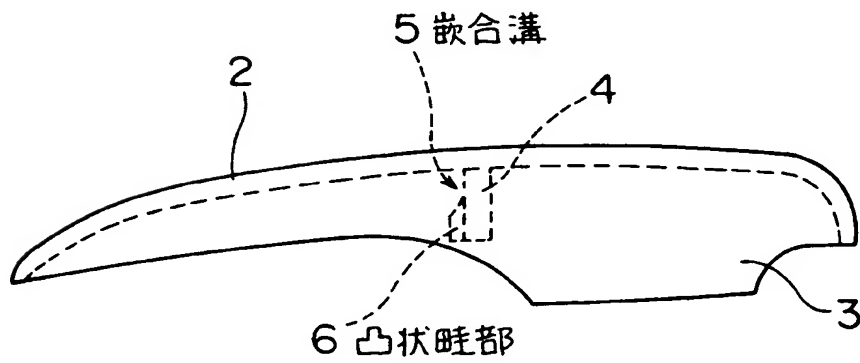
【書類名】

図面

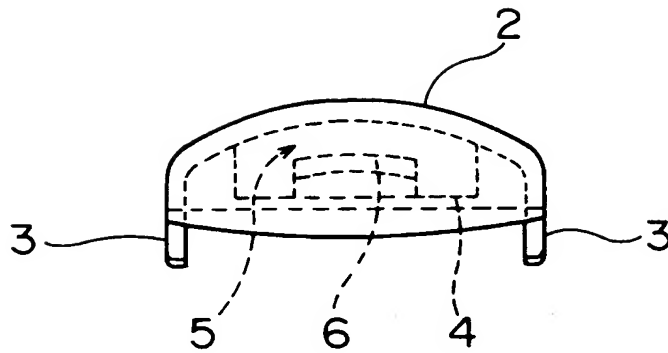
【図 1】



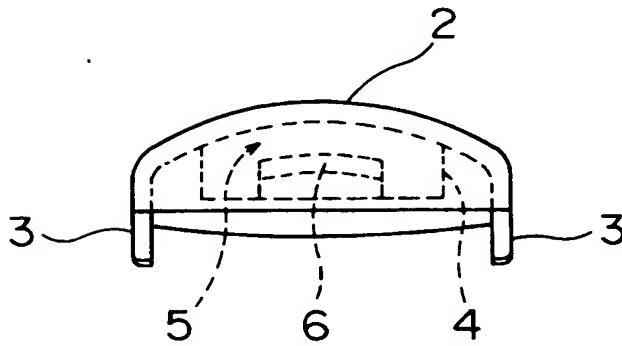
【図 2】



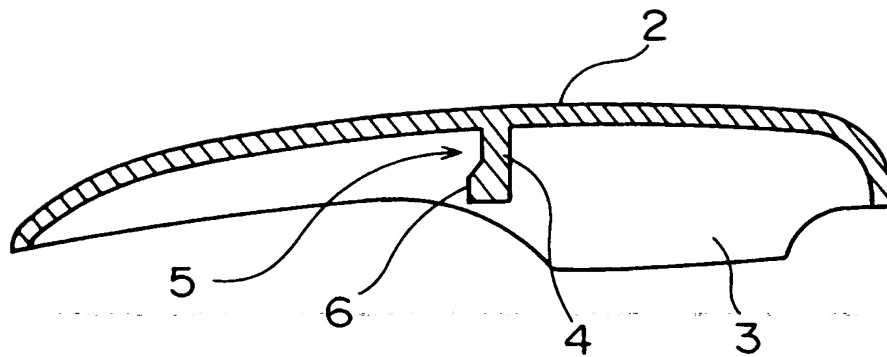
【図 3】



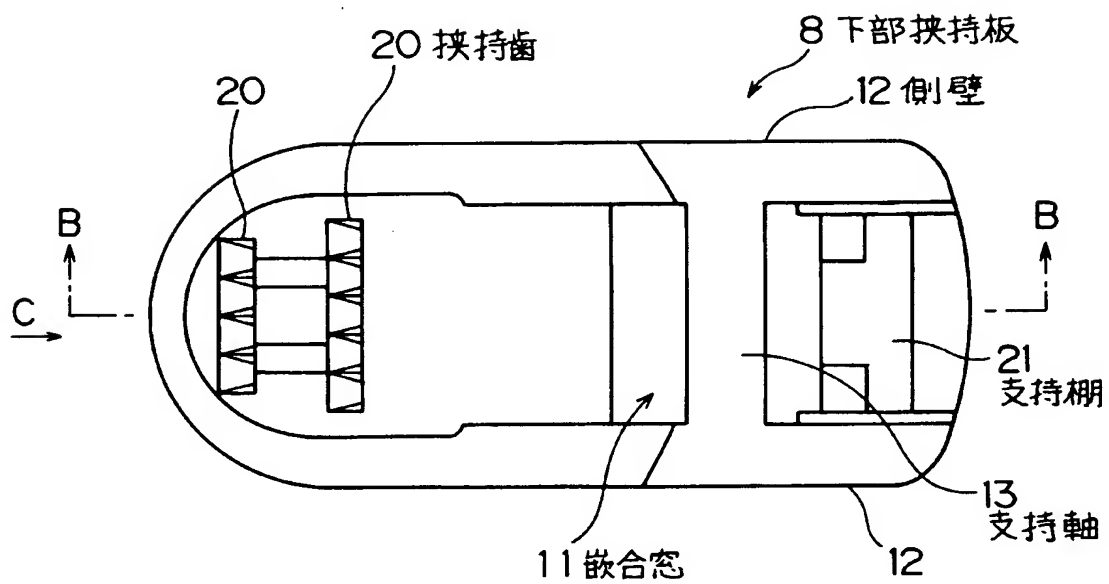
【図 4】



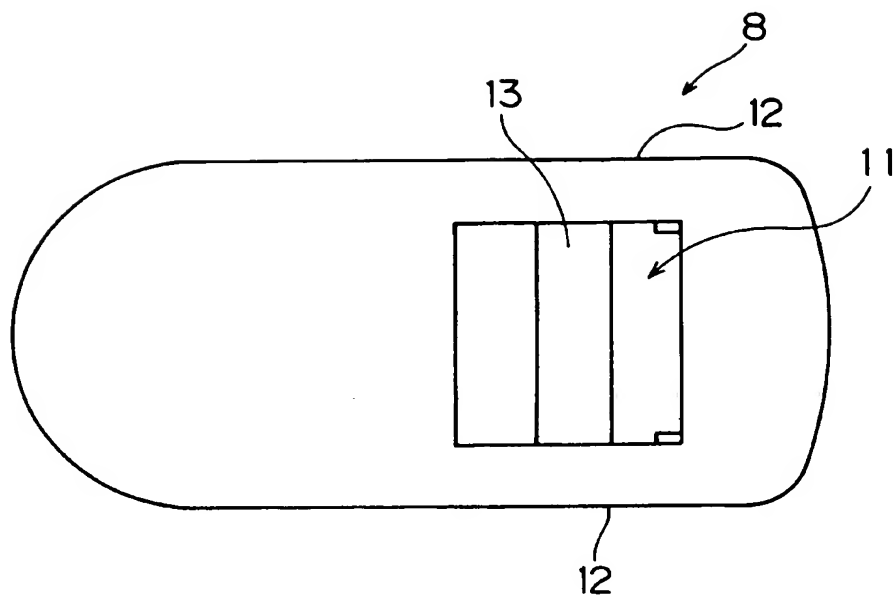
【図 5】



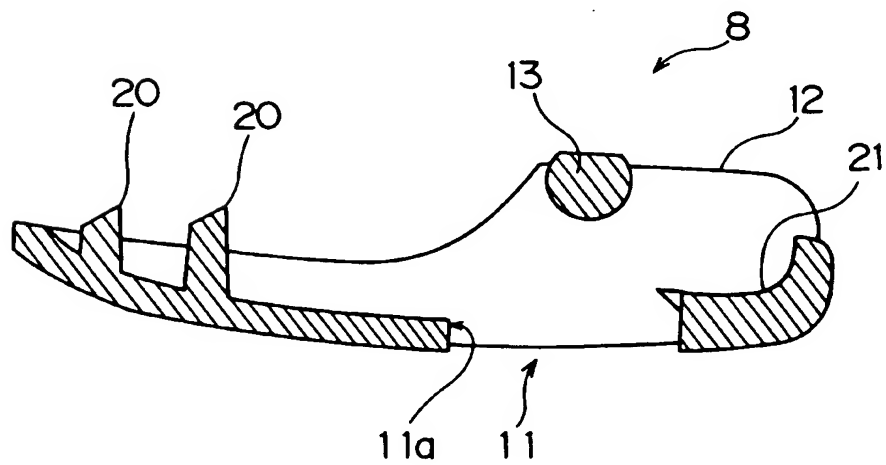
【図 6】



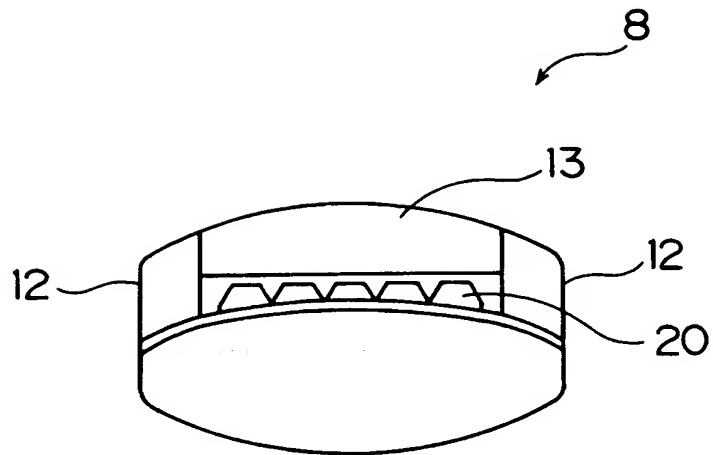
【図 7】



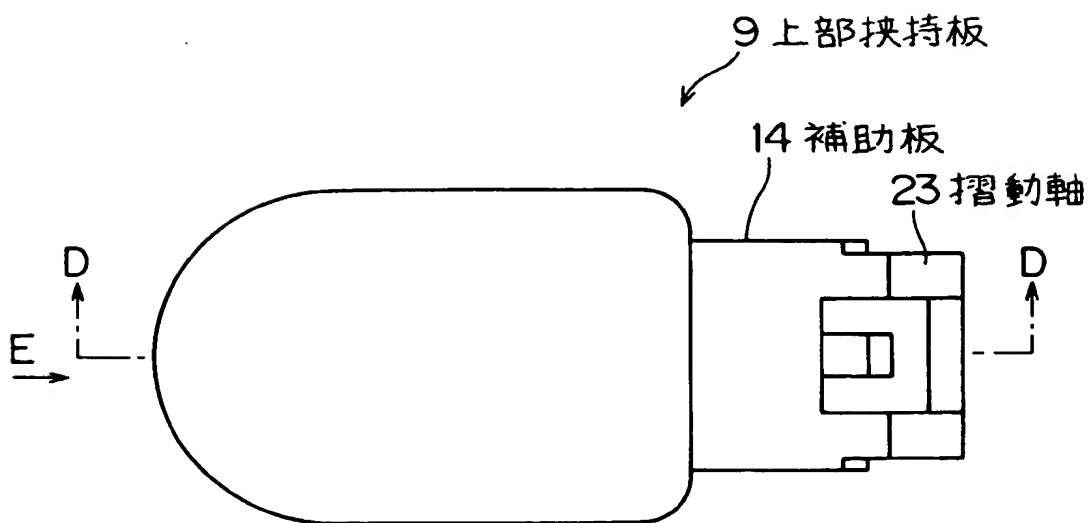
【図 8】



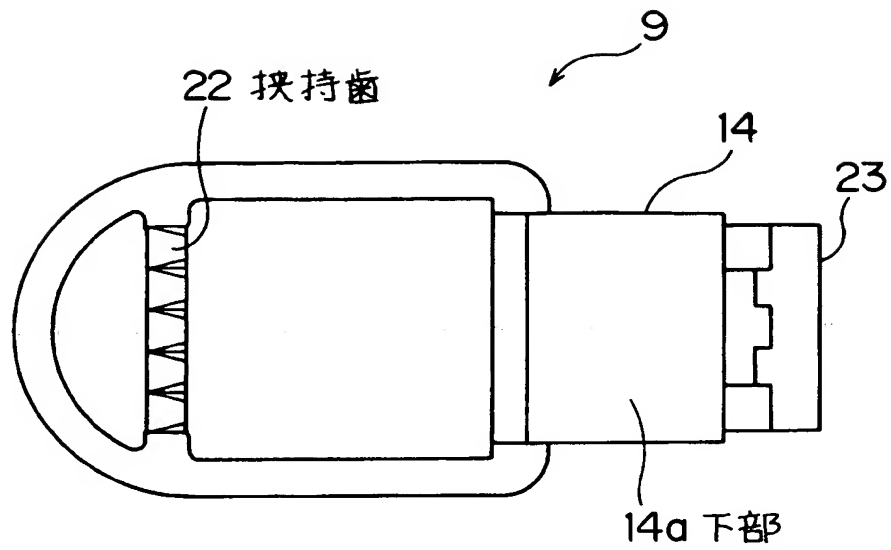
【図 9】



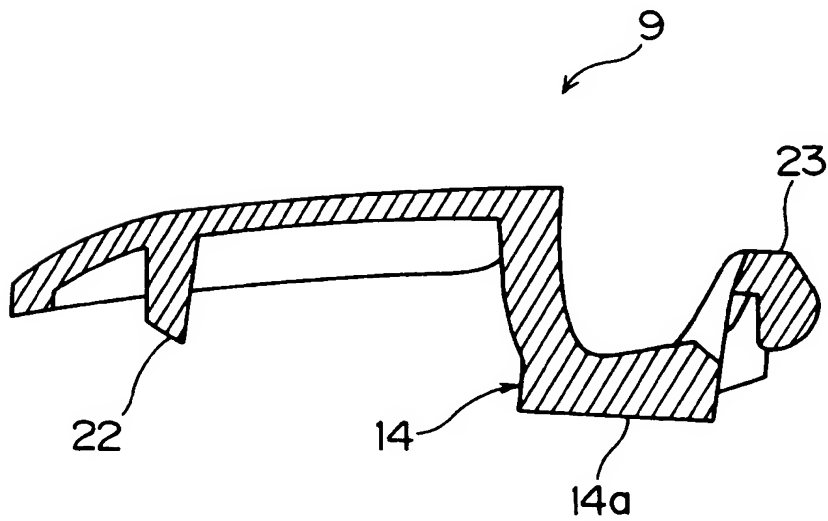
【図 10】



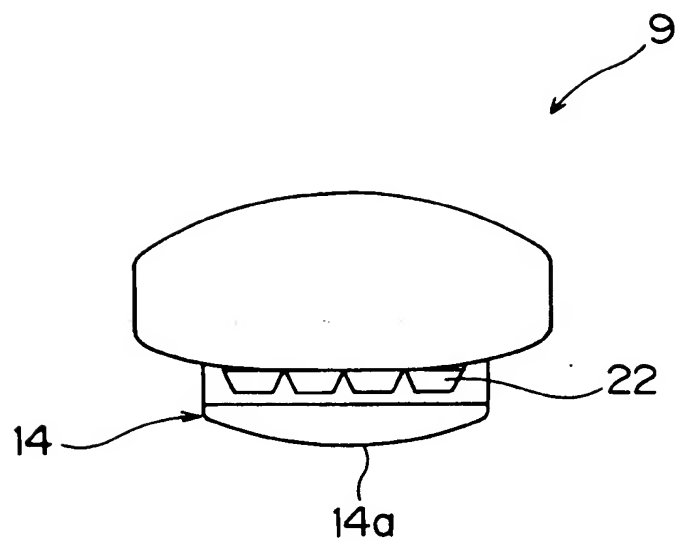
【図 11】



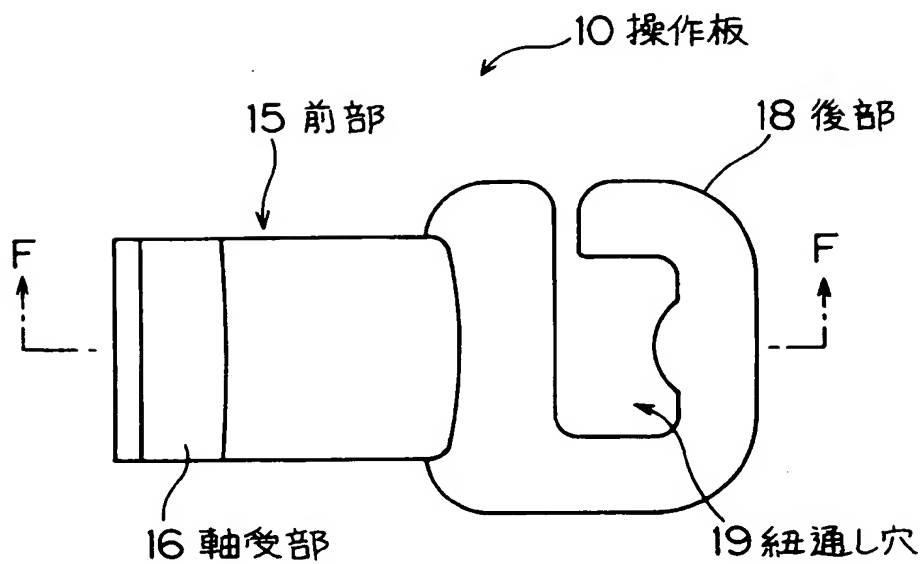
【図 12】



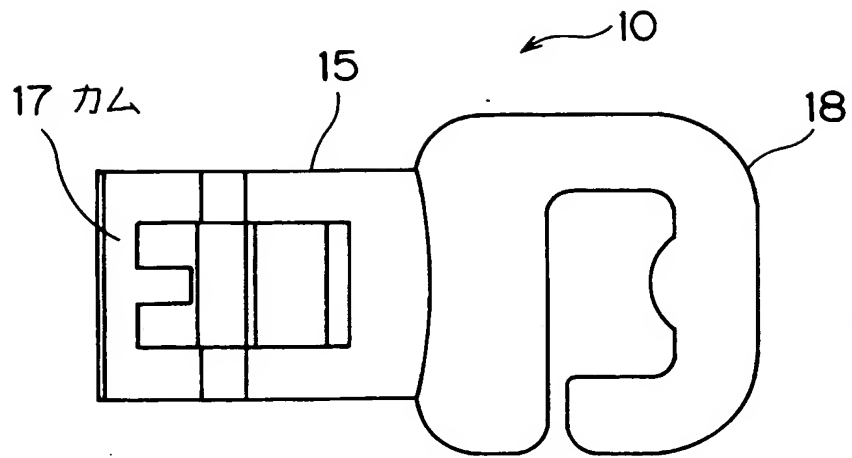
【図 13】



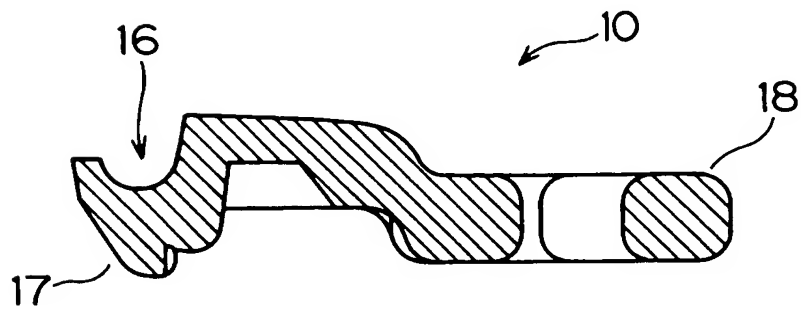
【図 14】



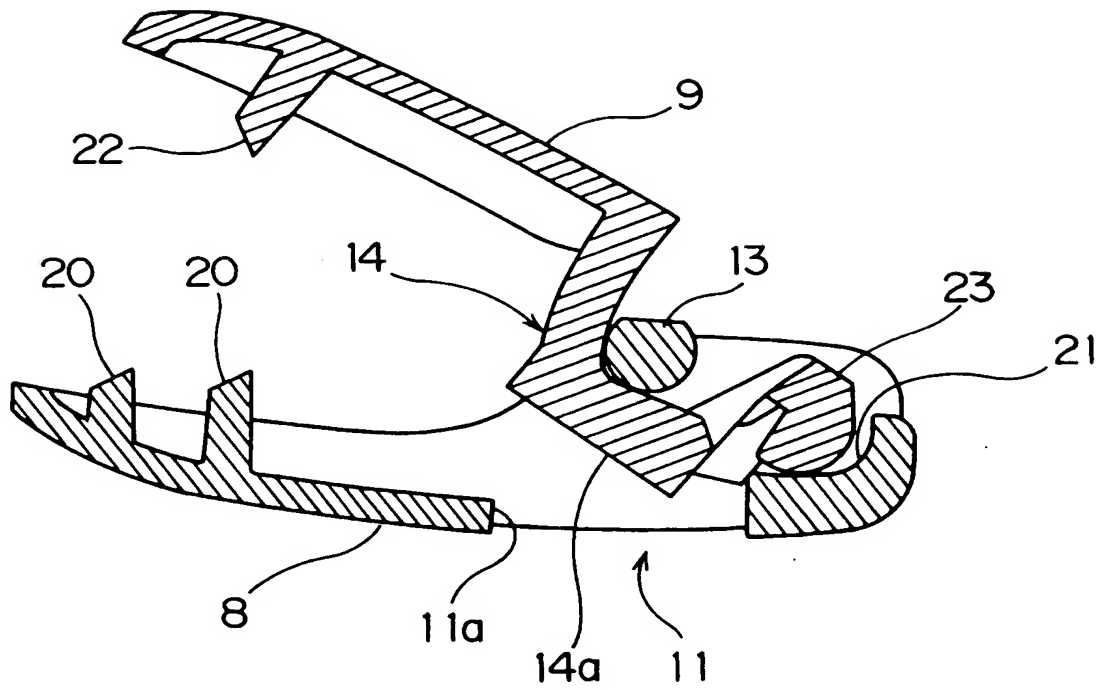
【図 15】



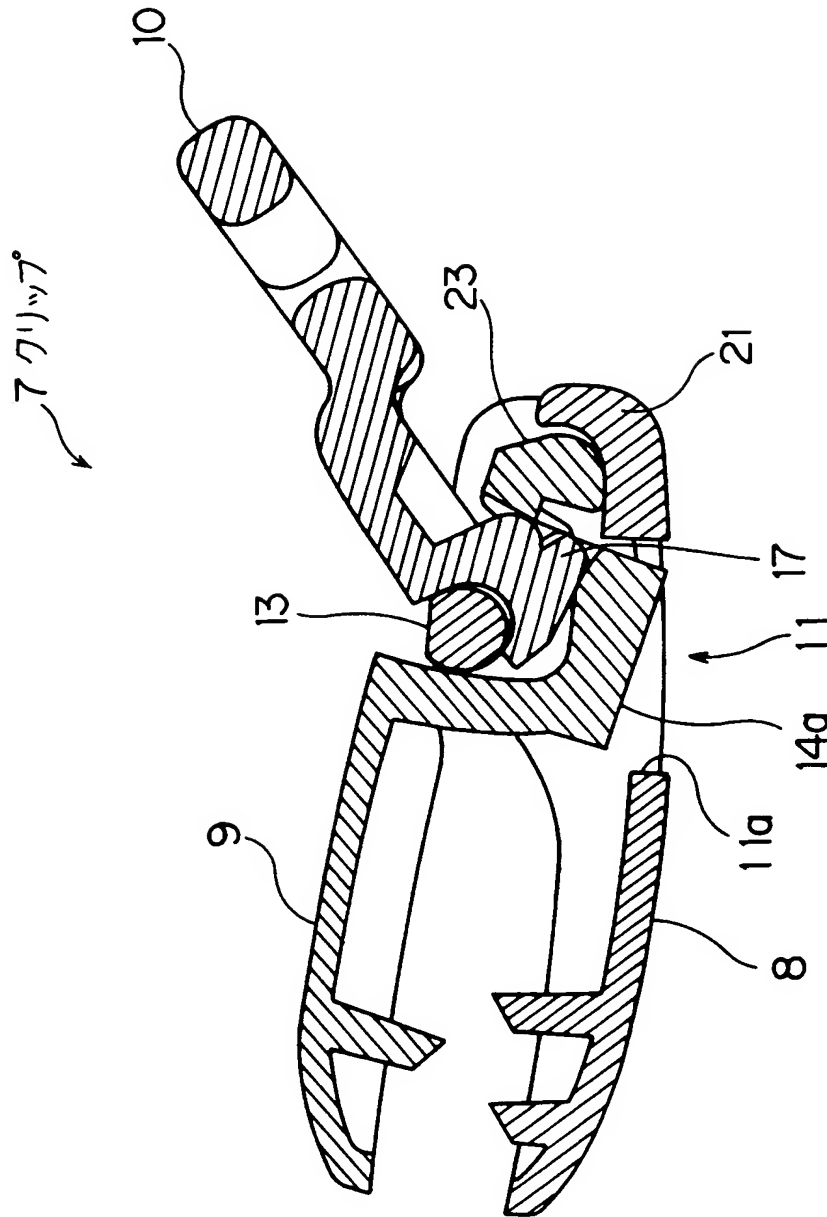
【図 16】



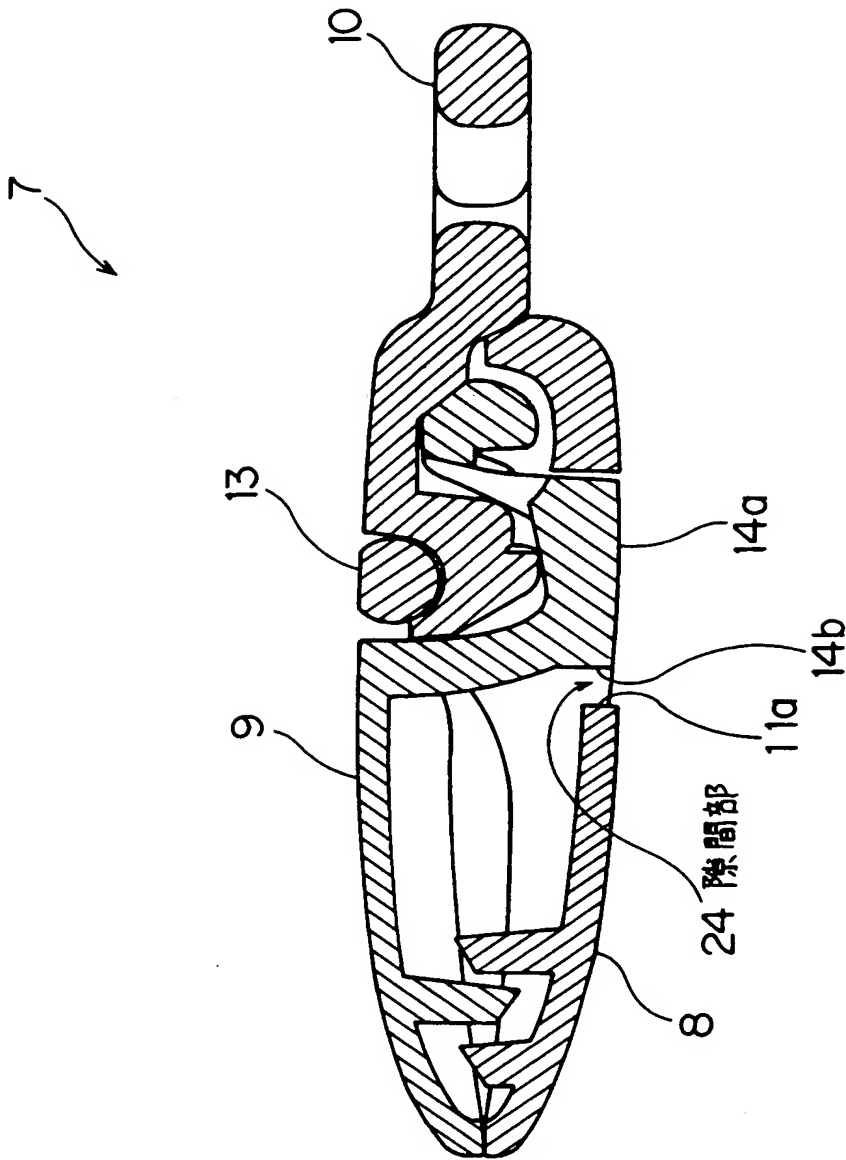
【図 17】



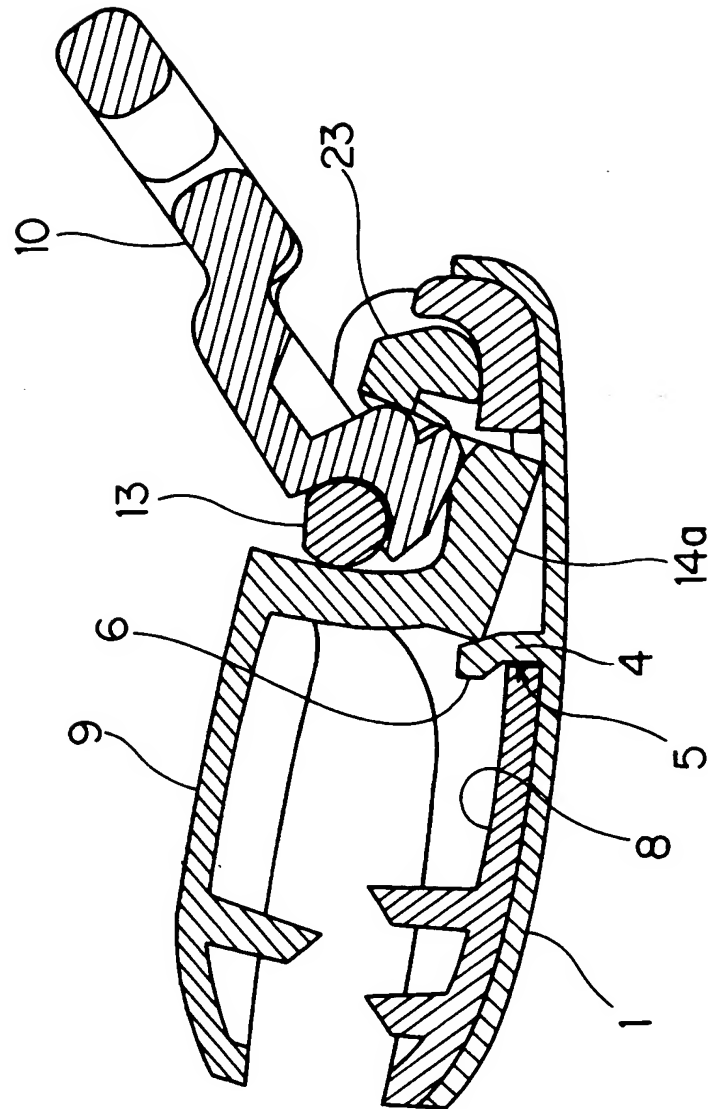
【図18】



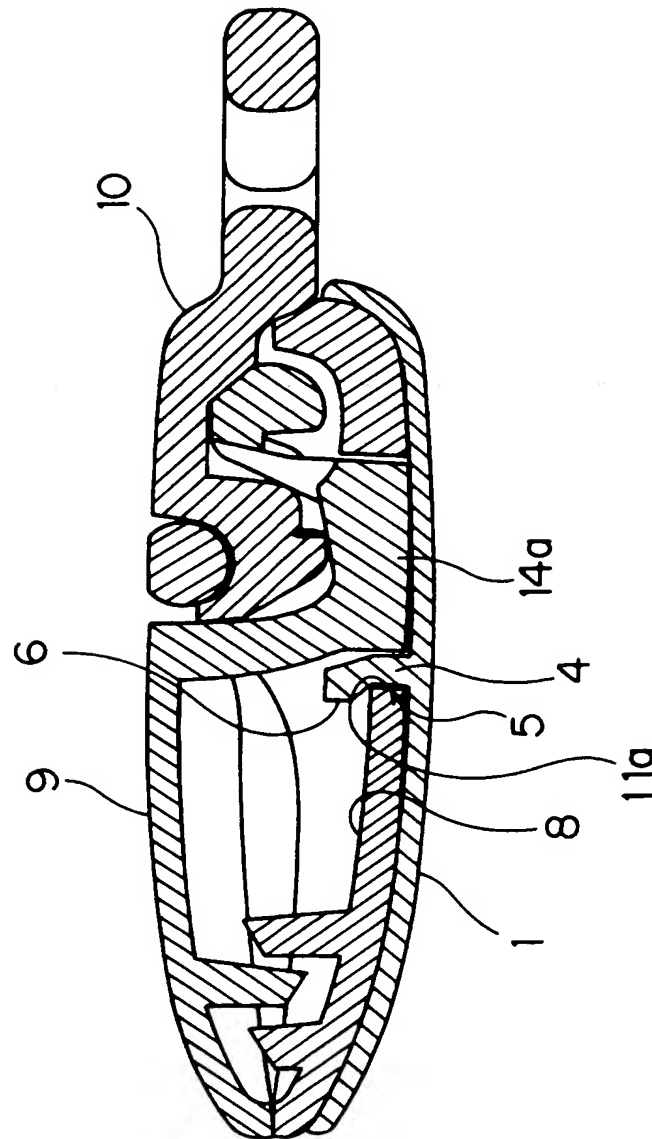
【図 19】



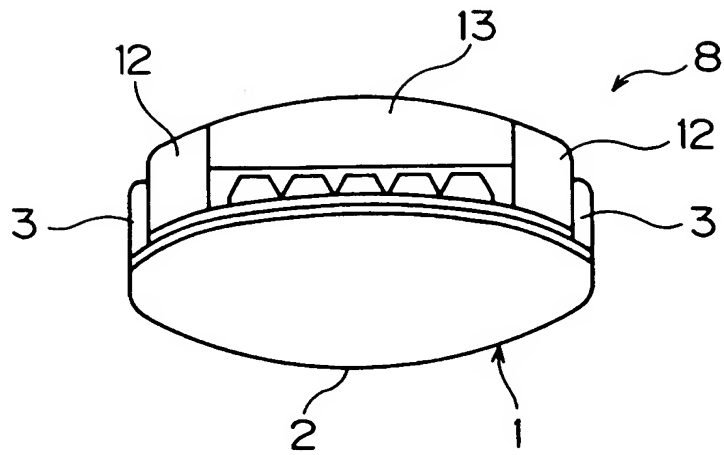
【図 20】



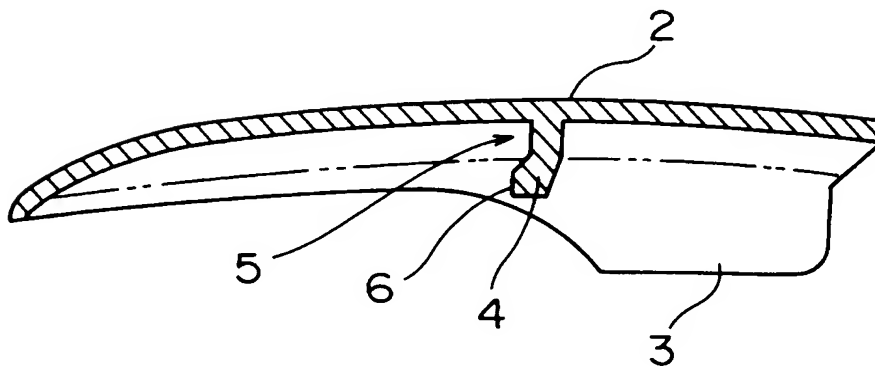
【図 21】



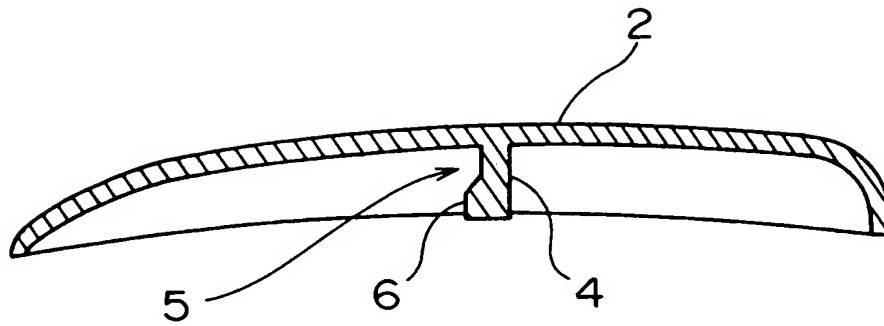
【図 2 2】



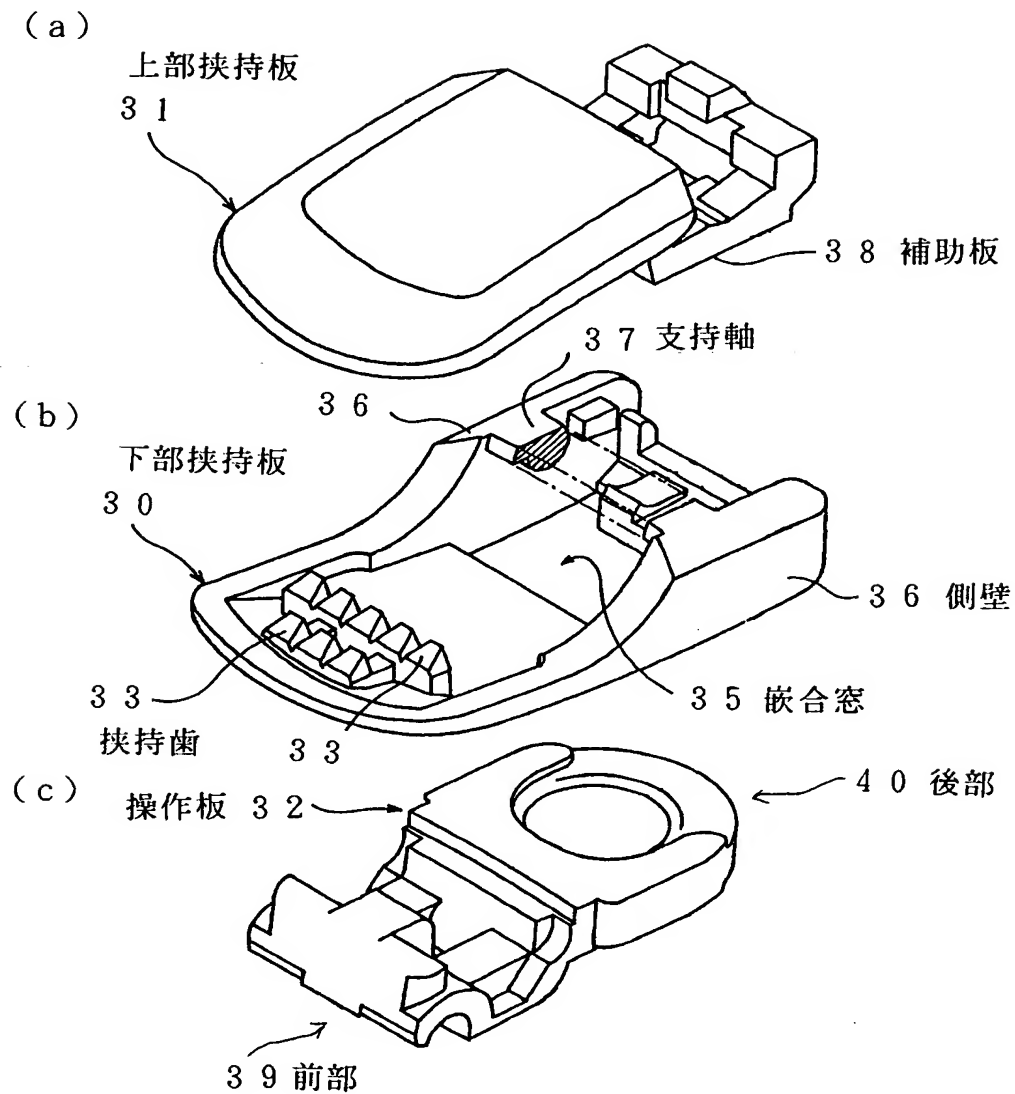
【図 2 3】



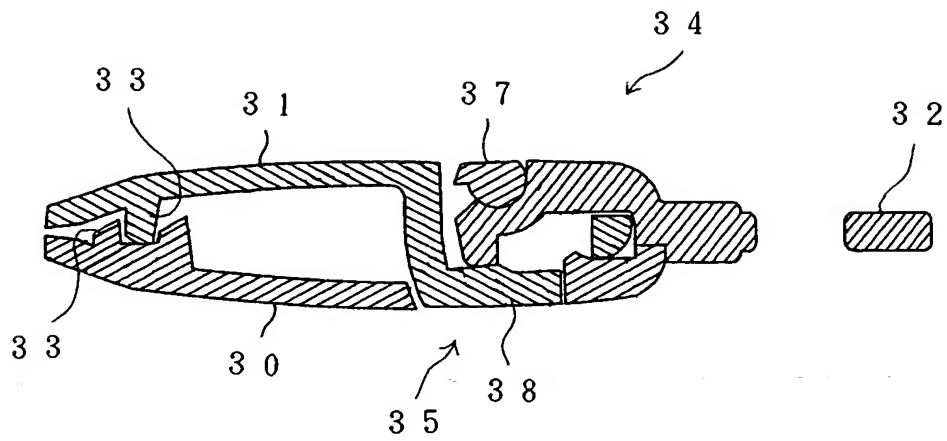
【図 24】



【図 25】



【図 26】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ネイルアートすることができ、クリップの保護カバーとしての機能を果たすクリップ用爪型カバー及び該クリップ用爪型カバーと該クリップ用爪型カバーを装着することができるプラスチック製クリップとを組み合わせたクリップセットを提供する。

【解決手段】 人間の爪様に外面が湾曲していると共に爪先に向かって伸びた形状の付爪本体 2 と該付爪本体 2 の内面から垂設されて該付爪本体 2 の短手方向に向かって走る薄板状被挟持壁 3, 3 とを備えていると共に該被挟持壁 3, 3 には付爪本体 2 の内面との間に嵌合溝 5 が形成されているクリップ用爪型カバー 1。

【選択図】 図 5

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2003-116194
受付番号	50300659080
書類名	特許願
担当官	雨宮 正明 7743
作成日	平成 15 年 5 月 1 日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】	591117480
【住所又は居所】	京都府京都市北区紫野宮西町 3 2 番地
【氏名又は名称】	j - s e n 株式会社

【特許出願人】

【識別番号】	591141290
【住所又は居所】	京都府京都市中京区押小路通烏丸東入西押小路町 1 1 5 番 1
【氏名又は名称】	株式会社デコス

【代理人】

申請人	
【識別番号】	100067301
【住所又は居所】	京都市中京区烏丸通御池上る二条殿町 5 4 6 齋 藤都ビル 6 階 安藤順一特許事務所
【氏名又は名称】	安藤 順一

次頁無

特願 2003-116194

出願人履歴情報

識別番号

[591117480]

1. 変更年月日

1991年 4月30日

[変更理由]

新規登録

住 所

京都府京都市北区紫野宮西町32番地

氏 名

ジェー線株式会社

2. 変更年月日

2003年 4月21日

[変更理由]

名称変更

住 所

京都府京都市北区紫野宮西町32番地

氏 名

j - s e n 株式会社

特願 2 0 0 3 - 1 1 6 1 9 4

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[5 9 1 1 4 1 2 9 0]

1. 変更年月日

1 9 9 1 年 5 月 3 1 日

[変更理由]

新規登録

住 所

京都府京都市中京区押小路通烏丸東入西押小路町 1 1 5 番 1

氏 名

株式会社デコス